

作業部会【おおむね3歳児】

有元 裕美（明星幼稚園 教諭）

岡田 京子（総社保育園 主任）

前原 教恵（津山保育園 主任）

宇那木 美穂（加茂幼稚園 主任）



米澤 和恵（KOKKO 保育所園 主任）

有富 裕子（城北保育園 主任）

大岩 玲子（美作大学附属幼稚園 主任）

内田 弘華（河辺幼稚園 主任）

おもな発達の特徴 おおむね3歳児



理念	保育内容（5領域）		おもな発達の特徴
健康な心と体	健康	身体・運動機能	○自分の体をコントロールしながら、走る、跳ぶ、投げる、蹴るなどの運動をして遊ぶ。
		基本的な生活習慣	○食事や排泄は個人差があるが、ほぼ自分でできるようになる。 ○衣服の着脱は、裏返し・ボタン掛け・ファスナーなどの仕方を知り、自分でしようとする。
自信と信頼	人間関係	人とかかわる力 自立心 協同 規範意識など	○自己主張する。 ○簡単なルールのある遊びをすることで、合図や順番、交代などの約束を知る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">じぶんでするよ</div>
	環境	好奇心 探究心 生活に取り入れる力など	○「おもしろそう。」「やってみたい。」という気持ちを持ち、繰り返し遊ぶ。
命と自然	言葉	話す力 聞く力 言葉で表現する力など	○「なぜ」「どうして」と尋ね、いろいろなことに興味関心をもつ。 ○挨拶を自分からする。 ○絵本などを繰り返し見たり聞いたりする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">おはよう ありがとう</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">なぜ どうして</div> </div>
	表現	豊かな感性や表現力 想像力 描く 作る リズム など	○見立て遊びをしたり、意味づけをして遊ぶ。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">模倣遊び ごっこ遊び</div>

3歳児 4月

<p>発達のものの特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄は、自分でトイレに行く子ども、声をかけるとトイレに行く子どもがいる。食事は、器を持って食べることができる子ども、はしを持って食べようとする子どもがいる。服の着脱については、座ってパンツを履く子ども、立って履くことができる子ども、服のボタンをかけることができる子どももいる。個人差が大きい。 ・新しい環境に戸惑う姿が見られる。困り感を言葉で言えなかったり、思いが伝えられなかったりする。泣いたり、保育者の袖を持った手をひいたりして、保育者を振り向かせようとする姿が見られる。 ・砂場での型抜きやままごとでのごちそうづくりなどをして遊んでいるが、自分の世界で一人遊びをする子どももいる。また、近くの友達の様子に目を向ける子どもや友達が自分の遊びに入ってくることを嫌がる子どももいる。側にいる友達と一緒に遊ぼうとする状態ではない。継続児の中には、群れて走って遊んだり、友達と一緒に動きまわったりする姿が見られる。 ・好奇心がいっぱい、目に映ったものに次々と関心を示し、触ったり動きだしたりする子どもがいる。・気持ちが不安定な時には、偶然手があたっただけでも、ひっかいたり噛みついたりする子どももいる。 ・年上の子どもに世話をしてもらうことを喜ぶ子どもや触られたくない子どももいる。 ・「自分が、自分が」と言い、自分でしたがることが多い。 ・園庭の花びらが風邪で舞うのを保育者と一緒に見たり、ダンゴムシをひたすら探したり、たんぼぼのわたげを見つけたりして、吹いて遊ぶことを喜ぶ。 										
<p>(教育・養護) ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に楽しく過ごす。 ・新しい環境に慣れ生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ・身近な春の自然物に触れて遊び、春を感じる。 ・一人一人子どもの欲求を受け止め、安心感をもって生活できるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="338 1003 409 1151">健康な心と体</td> <td data-bbox="409 1003 1902 1151"> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを知る。(椅子に座って食べる。姿勢よく食べる。) ・曲に合わせて動物に変身しながら、手首・足首の力をつける。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1151 409 1285">自信と信頼</td> <td data-bbox="409 1151 1902 1285"> <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者にさまざまな欲求を受け止めてもらい、親しみを感じて安心して過ごす。 ・自分のクラスや保育者の名前を知る。 ・保育者と一緒に好きな遊びを見つけて繰り返し遊んだり、安心して過ごしたりする。 ・「自分で、自分が」という気持ちで遊んだり生活したりする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1285 409 1433">命と自然</td> <td data-bbox="409 1285 1902 1433"> <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のマークを覚え、自分の荷物を片付ける場所を知る。 ・春の自然を感じながら、身近な小動物や草花を見たり触ったりして遊ぶ。 ・遊具や用具の使い方、遊び方を知る。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1433 409 1596">豊かな情操と</td> <td data-bbox="409 1433 1902 1596"> <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事など、生活に必要な言葉を使う。 ・自分のしてほしいこと、したいこと、困ったことやわからないことがあった時、言葉や動作で伝える。 ・楽しんで絵本や紙芝居を見る。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="338 1596 409 1762"></td> <td data-bbox="409 1596 1902 1762"> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、手遊びをしたり、歌をうたったり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・自由画帳やクレパスやマーカーの使い方を知り、好きな絵を描く。 ・こいのぼりなどを描いたり、のりを使って貼ったりして、最後まで楽しんで作る。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを知る。(椅子に座って食べる。姿勢よく食べる。) ・曲に合わせて動物に変身しながら、手首・足首の力をつける。 	自信と信頼	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者にさまざまな欲求を受け止めてもらい、親しみを感じて安心して過ごす。 ・自分のクラスや保育者の名前を知る。 ・保育者と一緒に好きな遊びを見つけて繰り返し遊んだり、安心して過ごしたりする。 ・「自分で、自分が」という気持ちで遊んだり生活したりする。 	命と自然	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のマークを覚え、自分の荷物を片付ける場所を知る。 ・春の自然を感じながら、身近な小動物や草花を見たり触ったりして遊ぶ。 ・遊具や用具の使い方、遊び方を知る。 	豊かな情操と	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事など、生活に必要な言葉を使う。 ・自分のしてほしいこと、したいこと、困ったことやわからないことがあった時、言葉や動作で伝える。 ・楽しんで絵本や紙芝居を見る。 		<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、手遊びをしたり、歌をうたったり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・自由画帳やクレパスやマーカーの使い方を知り、好きな絵を描く。 ・こいのぼりなどを描いたり、のりを使って貼ったりして、最後まで楽しんで作る。
健康な心と体	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを知る。(椅子に座って食べる。姿勢よく食べる。) ・曲に合わせて動物に変身しながら、手首・足首の力をつける。 										
自信と信頼	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者にさまざまな欲求を受け止めてもらい、親しみを感じて安心して過ごす。 ・自分のクラスや保育者の名前を知る。 ・保育者と一緒に好きな遊びを見つけて繰り返し遊んだり、安心して過ごしたりする。 ・「自分で、自分が」という気持ちで遊んだり生活したりする。 										
命と自然	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のマークを覚え、自分の荷物を片付ける場所を知る。 ・春の自然を感じながら、身近な小動物や草花を見たり触ったりして遊ぶ。 ・遊具や用具の使い方、遊び方を知る。 										
豊かな情操と	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事など、生活に必要な言葉を使う。 ・自分のしてほしいこと、したいこと、困ったことやわからないことがあった時、言葉や動作で伝える。 ・楽しんで絵本や紙芝居を見る。 										
	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者と一緒に、手遊びをしたり、歌をうたったり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・自由画帳やクレパスやマーカーの使い方を知り、好きな絵を描く。 ・こいのぼりなどを描いたり、のりを使って貼ったりして、最後まで楽しんで作る。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の時間は個人差があることを考慮しながら、ごちそうさまをするまで椅子に座って待てるように繰り返し指導する。 ・活動の合間にはトイレに行くことができるように全員に声をかけたり、必要な子どもには個別に声をかけたりする。排泄や手洗いなど、その都度保育者が付き添い仕方を伝えていく。 ・自分の身支度や持ち物の始末は、自分の持ち物を置く場所に個人のマークをつけ、時間にゆとりをもって、一つ一つ丁寧に組みませ、自分でしようという気持ちをもてるように繰り返し援助する。 ・登園時は笑顔で迎え、優しく話しかけたり、抱き上げたりして、一人一人が安心できるようにする。 ・保育者は子どもの様子を見ながら、その子の思いや興味を探り、思いを受け止めたり、遊びのきっかけをつくったりする。 ・家庭でも使っているような遊具や用具を用意し、親しみやすく安心できる環境づくりをする。 ・自分の好きな遊びを見つけて楽しめるように、遊具の数や種類を豊富に用意する。 ・保育者と一緒に遊具を使ったり片付けたりしながら、遊具の使い方を繰り返し知らせ、安全面に配慮する。自分でしようとする気持ちを大切に、十分励まし、見守っていく。 ・身近な小動物や草花を見たり触れたりできる機会を大切に、子どものつぶやきや気付きなどに共感する。 ・言葉でうまく伝えられない時には、保育者がしっかり耳を傾け子どもの思いを受け止めるように努める。 ・生活の流れや活動に応じて、具体的に教材や絵カードをわかりやすく工夫して使い、安心して過ごすことができるようにする。また、一人一人にあった援助や言葉がけをする。 										
<p>(家庭・地域との連携) 小学校との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園での様子や準備物などは、ホワイトボード・園だより・クラスだよりでわかりやすく伝え、信頼関係を築けるようにする。 ・個別に連絡が必要な場合には、降園時に直接保護者に園での様子を伝えたり、手紙を書いたりして、保護者が安心できるようにする。 ・環境の変化などで、疲れやすくなっていることを考慮して、健康管理に気を付け体調の確認をし合う。 ・家庭訪問を行い、子ども一人一人の家庭での様子を知り、保育者と保護者のつながりを作っていく。 ・PTAの集まりや参観日でクラスの様子を知らせ、保護者同士の交流の場になるようにする。 ・地域の人に「こんにちは」「おはようございます」と挨拶や言葉を交わし親しみをもてるようにする。 										

3歳児 5月

<p>発達 の 主 な 特 徴 姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいクラスに慣れてきて、身の回りのことを少しずつ自分でしようとする姿が見られる。 ・自分でトイレに行くようになり、排泄ができるようになる子どもが多い。スリッパを左右反対に履いていたり、ペーパーの使い方が十分でなかったりする姿が見られる。便に関しては、始末がうまくできず援助を求めてくる。 ・ほとんどの子どもが、保育者に親しみをもち始める。一方で、登園をぐずったり、時々母親を思い出し泣いたりする子どももいる。 ・戸外では、滑り台や砂場での遊びを楽しんだり、ダンゴムシやテントウムシ探しに夢中になったりする姿が見られる。 ・周りの友達の遊びにも目が向きはじめる。友達が何を使って、何をして遊んでいるかという意識ではなく、友達の持っている物、同じ物をもっておきたいという気持ちから、道具の取り合いになる場面も見られる。 ・物を取り合ったり、自分の思いを通そうとしたりするなどのトラブルが起きる。
<p>(教育・ 養護) ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な身の回りのことを少しずつ自分でしようとする。 ・好きな遊びを保育者と一緒にし、安心して過ごす。 ・身の回りのさまざまなことに興味や関心をもち、かかわろうとする。 ・身近な春の自然に触れて遊ぶ。 ・生活や遊びの中で保育者に親しみをもち、話を聞こうとしたり生活や遊びの中に必要な言葉があることを知ったりする。 ・一人一人の欲求を受け止め、生活のリズムを知って、安心して生活できるようにする。
<p>経験 させ たい 内容</p>	<p>健康な心と体</p> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、最後まで座って保育者や友達と一緒に食事をする。 ・保育者に手伝ってもらいながら、排泄や身の回りの始末を自分でする。 ・遊んだ物を保育者と一緒に片付ける。 ・遊具を安全に気を付けて使い、戸外でのびのびと体を動かして遊ぶ。
	<p>人間関係</p> <p>自信と信頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の側で安心して、好きな遊びをする。 ・自分の物とみんなの物があることを知る。 ・友達とのトラブルを経験し、少しずつ我慢することを覚える。
	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な動植物(ダンゴムシ、いちょうの葉など)に興味をもち、触れたり遊んだりする。 ・年中・年長児が花の種まきやさつまいもの苗植えをする様子を見たり、生長を楽しみにしたりする。
	<p>言葉</p> <p>命と自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・したいこと、してほしいことを身振りや自分なりの言葉で伝える。 ・生活や友達とのかかわりの中で、挨拶や返事などの生活に必要な言葉を使う。 ・保育者の話を意識して聞こうとする。
	<p>豊かな 情操 と賢 さ</p> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に、手遊びをしたり、歌をうたったり、体を動かしたりして遊ぶ。 ・いろいろな素材に触れたり、用具(のりなど)の使い方を知ったりする。
<p>環境 構成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣は、個々のペースに合わせて細かく声をかけたり、自分でできるように見守ったり、できた時にはしっかり認めるなど、必要に応じて援助をする。 ・食事の量や好みなどを加減しながら、個人差を考慮する。友達と一緒に食べる楽しさが感じられるようにする。 ・戸外ではのびのびと体を動かして遊べるように、遊具の安全確認をしたり、休息のできる陰(テント)を作ったりする。 ・登園時は笑顔で迎え、優しく話しかけたり、抱き上げたりして一人一人が安心できるようにする。 ・物を取り合ったり、自分の思いを通そうとしたりするなどトラブルが起きた時には、人数に応じた道具を準備したり、子どもの思いを受け止めながら、ゆずりあったり順番を守ったりすることを知らせる。 ・好きな遊びが十分に楽しめるように、時間を確保する。 ・遊んでみたいと思うような遊具、玩具を用意し自分で好きな遊びが選べるようにしておく。 ・いろいろな用具を使って遊べるように活動を工夫する。 ・虫や花など春の自然を見つけ、興味・関心がもてるように年長児の花の種まきや苗植えの様子を見たり参加したりする機会をもつようにする。 ・生活の見通しがもてるように作成した絵カードの見直しをし、必要に応じて活用する。絵カードを活用しながら、わかりやすいように声かけをし、意識して聞けるようにする。 ・挨拶や返事、言葉の大切さを伝えながら、保育者も丁寧な言葉かけをしたり、子どもも言えるように促したりする。 ・親しみやすい曲に合わせてリズム遊びをしたり、手遊び、歌など保育者が楽しく歌ったり体を動かしたりしながら楽しさを知らせる。
<p>(家庭・ 学校 との 連 携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問や個人懇談の際、園での様子を伝える。家庭での様子や保育歴を聞き、保護者の子育ての思いを保育の参考にする。 ・連休明けで疲れが出やすい時期なので、子どもの体調の変化を伝え合い、体調に応じて家庭でも休息をとるように伝える。 ・保護者の子育て不安を受け止め、気軽に話ができるように、連絡を密にし信頼関係を築いていく。 ・家庭でもできるように身の回りの始末や衣服の着脱など、自分なりにしようとしている姿を伝える。子どもの安心や自信につながるように連絡をする。

3 歳児 6 月

発達 の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> 園生活の流れや保育室の環境がわかり、かばんや帽子などの持ち物の始末や衣服の着脱など身のまわりのことを自分でしようとする。衣替えにより衣服の着脱がうまくできず、不安に思う子どももいる。 暑さが増し、汗をかいいたり、疲れやすい子どもや体調を崩す子どももいたりする。 はしを持って食事しようとする意識はあるが、はしの正しい持ち方ができず、にぎりばしなどの子どももいる。 行動範囲が広がり、自分の部屋以外でも遊んだり、いろいろな遊びに取り組んだりする。しかし、一つの遊びに対する持続時間は短い。 周りの友達や遊びにも関心が増え、自分から進んでいるいろいろな活動に取り組むが言葉より行動が先立ち、物の取りあいが増える。 戸外に出て遊び、夏野菜の栽培物やダンゴムシ・アオムシ・オタマジャクシ・カタツムリなどの小動物に目を向け、見つけたり、捕まえたり、触れたりして遊ぶ。 クレパスやはさみ、のりなどの使い方はまだ上手ではないが、自分なりに使って遊ぼうとする。 順番や交代、並ぶなどのルールがあることを意識して生活や遊びをする姿が見られる。 	
(教育・養育) ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 はしや食器を正しく持ち、食事の仕方がわかるようになる。 生活や遊びに必要なルールがわかるようになる。 自分から遊びを見つけたり、進んで保育者や気の合った友達と一緒に遊ぼうとする。 はさみやのりなどの用具の使い方を身に付ける。 梅雨期の自然や小動物に興味や関心をもつ。 梅雨期の衛生管理を十分にを行い、一人一人の子どもが健康に生活できるようにする。 	
経験 させ たい 内容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> 自分で簡単な身の回りのことをしたり、保育者と一緒に行ったりする。 はしや食器の正しい持ち方を意識して食べる。 歯の大切さを知り、正しい歯の磨き方を意識して自分でする。 天気の良い日には、積極的に戸外遊びを楽しみ、体を動かす。 雨具の使い方や始末の仕方を知り、自分でしようとする。 伝染病について知り、うがいや手洗いを丁寧にする。
	関 人 係 間	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達を見つけたり、保育者に仲立ちをしてもらったりしながら、友達とかがわりあって遊ぶ。 友達と一緒に遊ぶ中で、ルールがあることに気づく。 友達が持っているものやしていることに興味をもって、同じことをしようとする。
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜やプランター栽培などの生長に興味をもち、保育者と一緒に世話をする。 雨や水、砂、泥に触れて、驚いたり、工夫したりして、全身を使って遊ぶ。 アジサイやカタツムリ、カエルなど、梅雨の動植物に触れたり、見たりする。 「おもしろそう」「やってみたい」という気持ちをもち、興味をもったことを、繰り返し遊ぶ。 時の記念日を機に、時計や時間に関心をもつ。 小動物や昆虫と触れ合う中で、生命があることに気付く。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> 遊びに必要な言葉を知り、自分で思ったことや感じたことを言葉で伝える。 身近な生活や遊びに関する絵本や紙芝居などの内容がわかり友達と一緒に保育者の読み聞かせを楽しんで聞く。 気の合った友達と遊ぶ中で、生活に必要な言葉があることに気づき、「かして」「いれて」「かわって」「ありがとう」などを覚えて使う。
	豊 か な 情 操	<ul style="list-style-type: none"> 保育者や友達と合わせて、楽しんで歌を歌ったり、リズム遊び、表現遊びをしたりする。 楽しんで身近な素材や材料・用具を使って、自由に切ったり、貼ったり、描いたりする。 身近な小動物、オタマジャクシ、カタツムリ、カエルなどになりきって、体を動かして遊ぶ。 新聞紙を使って、ちぎったり、丸めたり、投げたりして見立てて遊ぶ。 新しい歌を覚え、友達と歌ったり、身体を動かしたりして遊ぶ。
	環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な身のまわりのことが自分でできるように、手順がわかりやすい掲示物を用意する。 暑がったり疲れたりしている子どもには、一人一人の様子をよく見ながら衣服の調節をするなどして、個々に援助する。 一人一人のはしの持ち方を確認し、個々に手を添えて正しい持ち方を教えたり、絵図を見せたりして意識づけていく。 歯磨きに関するポスターを掲示し、歯磨きの習慣を意識づけるようにする。 梅雨期特有の自然現象を知らせたり、オタマジャクシやカタツムリなどの小動物に目が向くように飼育環境を整えたりする。 雨具の安全な使い方や始末の仕方を具体的に繰り返し知らせていく。 生活の中で時間を知らせたり、時計作りを通して、時間や時計に興味をもたせたりする。 友達同士、やりとりして遊べるように、遊具や用具の数を加減する。 身近に夏野菜が出てくる絵本や図鑑などを置き、興味もてるようにする。また、水やりや観察をしたりする中で、子どもの発見や驚きに共感する。 子どもの興味関心に応じて、イメージを豊かにできるような絵本などを選んで、読み聞かせをする。 いろいろな素材に触れる遊びを通して、それぞれの感触を楽しんだり、開放感を味わったりできるようにする。 子どもがイメージしたり、楽しんで繰り返ししたりして遊ぶことができる素材や材料・用具を準備する。保育者も一緒に使って遊びながら、安全なはさみの使い方、のりの適量を知らせる。励ましたり認めたりしてやる気を育むようにする。片付けは元に戻すことも楽しい経験になるよう丁寧に片付けることも合わせて伝える。
家 庭 ・ 小 学 地 域 等 の 連 携	<ul style="list-style-type: none"> 楽しんで遊べるような興味のある音楽を選び、それぞれの表現を受け止める。 園での手洗い、うがいなどの様子を知らせ 家庭でも習慣づけられるように呼びかける。 衣替えについて知らせ、草履などを用意してもらったり、着替えを夏物にしてもらおう。 正しいはしの持ち方の絵図を配布したりして、家庭でも意識して取り組めるようにする。 感染症が流行しやすい時期なので、清潔に気を付けることや体調の変化について伝え合う。 保護者の声に耳を傾け、我が子の心の状態を教えてもらったり、園での様子について知らせたりして、安定した気持ちで過ごせるようにする。 散歩などを通して、地域の人に挨拶をしたり、親しみをもてるようにする。 	

3歳児 7月

<p>発達 この 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園での生活の仕方にも慣れ、落ち着いて過ごしている。持ち物の始末もそこそこに好きな遊びをしようとする姿も見られるが、保育者の個別のかかわりでやり遂げることができる。 食事や排泄面での個人差が大きい。食事ははしで食べようとするがぼれがちである。排泄は、失敗することもあるが、自分からトイレに行こうとする姿が見られる。 保育者に言われて、ハンカチで汗を拭くことができている。 色水遊び・どろんこ遊び・水遊びなどを繰り返し保育者や友達と感触を楽しんでいる。 多くの子どもがプール遊びを楽しむが、プール遊びに不安を感じ、気持ち不安定な子どももいる。 アニメのキャラクター（ゴカイジャー・プリキュアなど）などになって、同じ持ち物を持ち、まねをして動き、なりきり遊びを楽しんでいる。 同じ遊びに興味をもった子どもが集まり、一緒に動いたり同じ遊具を持ったりすることを喜んでいる。 自分の思い通りにしたり、物の取り合いなどのトラブルが増える。 生活する中で困ったことやわからないことを「これ何?」「どうするん?」と保育者に尋ねることが増える。 気の合う友達の名前を呼び合っている子どももいるが「あの子、この子」と呼ぶ子どももいる。
<p>(教 育・ 養 育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏の生活の仕方を知り、できることは自分でやってみようとする。 夏の自然事象(夕立・雷・じ)に興味関心をもつ。 保育者や友達と一緒に、のびのびとプール遊びや水遊びなどの夏の遊びを楽しむ。 保育者や友達と一緒に夏野菜の収穫などをして、自然に親しむ。 体調の異常に気を付け、一人一人の子どもが健康に生活できるようにする。
<p>経験 させ たい 内容</p>	<p>健康な心と体</p> <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏の生活の仕方(食事や水分補給、休息、睡眠)がわかり、自分でできることは自分でしようとする。 汗の始末や衣服、水着の着脱、後始末など保育者に手助けしてもらいながら自分でする。 全身を使ってプール遊び、水遊びなどをし、開放感を味わう。
	<p>人間関係</p> <p>自信と信頼</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の真似をするなどして、好きな遊びを一緒にする。 プール遊びの約束を知り、安全に気を付けて遊ぶ。 異年齢児と触れ合い交流して遊ぶ。
	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 泥や水を使った遊びをして、感触を楽しむ。 夏の虫(セミ・カブトムシなど)に興味や関心をもち、見つけたり、触れたりする。 夏野菜の生長を観察したり、収穫したり、味わったりする。 粘土・シャボン玉・絵具などのいろいろな遊びを通して、色や形の違いに気づく。 伝承行事(七夕)を知り、喜んで参加する。
	<p>言葉</p> <p>命と自然</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で、「入れて」・「貸して」・「代って」などの言葉を使って、自分の要求や思いを伝える。 紙芝居や絵本を通して、七夕の由来を知り、伝統行事に興味をもつ。 夏の虫などを見つけて、気づいたことや驚いたことなどを言葉や身振りで伝える。(「これ何?」・「ありがとう」など)
	<p>豊かな情操と 賢さ</p> <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな素材を使って作り、作ったものを使って遊んだり、飾ったりする。 七夕飾りなどを作る中で、はさみで切ったり、のりで貼ったりする。 フィンガーペインティング、小麦粉粘土、スライムなど、さまざまな素材で感触を味わう。 友達と一緒に楽しんで、盆踊りや体操などをする。
<p>環境 構成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水分、食事、休息が十分とれるように配慮し、健康に生活が送れるようにする。 室温、湿度、換気、紫外線、気温などに十分留意し、適切な環境で過ごせるようにする。 身支度や後始末には、ゆったりとした時間をとり、手順や場所をわかりやすくし、日々の繰り返しの中で身につけられるようにする。 プールでの約束は、具体的な場面をとらえ、その都度伝え、子ども自身が意識して守れるようにする。 水がかかることを嫌がったり、苦手な子どもには個人差に応じて、無理なく水に親しめるようにする。 友達と遊びたい気持ちを受け止め、保育者が仲立ちするなかで、同じ遊びをする楽しさが味わえるようにする。 子どもたちが自分の気持ちを出しやすいように、普段から信頼関係をつくり、子どもたちの中に入って気持ちを丁寧を受け止めて代弁する。 この季節にしか見られない自然事象をとらえ、自然の不思議さなどを感じさせる。 色水、しゃぼん玉、水鉄砲など、子どもが自由に選んで遊べるコーナーを設置する。 夏野菜を収穫したり食べたりする中で、収穫の喜びや野菜への興味をもてるようにする。 水や砂などの素材に触れて、感触を味わったり、試したりできる経験を多くもつようにする。 季節に合った絵本や紙芝居を身近に置き、手にとれるようにする。 子どものイメージを受け止め、出来上がった作品を認めたり、一緒に遊んだりして満足感が味わえるようにする。 用具の使い方を良く観察し、適切に個人指導する。 子どもの好きな曲やリズムに乗りやすい曲を選び、のびのびと表現できるようにする。
<p>(家 庭・ 学 校 等 の 連 携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> プールカードを必ず記入してもらい、健康状態を把握して、プール遊びや水遊びをする。 クラス懇談、個人懇談を行い、子どもの成長や園での様子、家庭での様子について情報交換し、また、育児の不安や悩みなどを話せる関係性を深める。 家庭で十分睡眠を取ったり、朝食を食べるなど、規則正しく過ごし、体調管理に気をつけてもらう。

3 歳児 8 月

発達 こども の主な 特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことをほとんどの子どもは自分でしようとする。しかし、個別の声かけや援助の必要な子どももいる。 ・少しずつ水に慣れ、水遊びを楽しめるようになってきているが抵抗のある子どももいる。 ・保育者と一緒にキュウリやピーマンなどの野菜の生長の様子を見たり、収穫したりする。 ・気の合う友達とのかかわりが広がる中で、気持ちを言葉で十分伝えられなかったりして、トラブルが起きる。 ・水遊びやプール遊びの準備や後始末の手順がわかり、一人で出来た喜びを身近な人に伝えたり、友達の着替えを手伝ったりする。 ・暑い日が続き、水筒からお茶を飲むなど水分補給は自分でしようとするが食欲減退や発熱など体調を崩すことがある。 ・砂場で砂や水を使い、年長児の遊びをまねてダイナミックに遊ぶ。 	
(教育・養育)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の生活の仕方がわかり、身の回りのことは自分でしようとする。 ・自分の気持ちを言葉で伝えながら、気の合う友達と好きな遊びを楽しむ。 ・異年齢児や友達とのかかわりながら、夏ならではの遊びを楽しみ、開放感を味わう。 ・時間の流れに余裕をもち、ゆったりとした生活の中で安心して気持ちを表せるようにする。 ・健康や室内外の環境に留意し、夏を快適に過ごせるようにする。 	
経験させたい内容	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・涼しい場所で、みんなと楽しく食事をして、苦手なものでも自分から食べてみようとする。 ・夏の生活の仕方がわかり、自分でできることは自分でする。 ・自分の持ち物やみんなの道具などをあった場所に片づけようとする。 ・体を動かしながら、水遊びやプール遊びを楽しむ。 ・喜んで収穫した野菜を使ったクッキングの手伝いをしたり、食べたりする。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児と一緒に遊んだり、生活したりする。(水遊び、食事、午睡) ・水遊びやプール遊びでの約束や決まりを守って、気の合う友達と一緒に遊ぶ。 ・気の合う友達とかわりながら、保育者に仲立ちをしてもらうことで少しずつ友達の気持ちに気づく。 ・道具や用具の貸し借りをしながら遊ぶ。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の観察や収穫を通して食材に興味関心をもつ。 ・地域の行事や伝統的な行事に興味や関心をもつ。 ・身近な生き物に興味を持ち、観察ケースの虫を見たり触れたりする。 ・夏の自然現象(雷・夕立・虹・入道雲など)や植物に興味をもつ。
	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で経験したことや、感じたことを保育者や友達に話したり、友達の話を聞こうとしたりする。 ・絵本や図鑑などの内容を楽しみ、イメージをふくらませる。 ・「なぜ?」「どうして?」など疑問に思ったことを尋ねる。 ・自分のやりたい欲求や思いを言葉や態度で表現する。
	豊かな情操と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に歌ったり、リズムに合わせて踊ったりする。 ・フィンガーペインティグや小麦粉粘土、スライム、シャボン玉など、さまざまな表現をする。 ・いろいろな素材を使って、まるめたり、ちぎったり、投げたり、水につけてみたりして見立て遊びをする。
環境構成と援助	<ul style="list-style-type: none"> ・水分、食事、休息が十分とれるように環境を整えるとともに、室温、湿度、気温、換気、紫外線に留意し、調整しながらゆっくりと快適に過ごせるようにする。また、室内外の衛生面に十分留意する。 ・食欲が落ちた子どもには量を調節し、少しでも食べれたときは一緒に喜ぶようにする。 ・給食会議等で、クッキングや水分補給など必要な対応をしてもらうよう、栄養士と連携をとる。 ・夏野菜の収穫を通して、野菜嫌いな子どもも食べてみようと思えるようにする。 ・自分達で育てた野菜をクッキングして食べることで、食の関心を高められるようにする。衛生的にクッキングを行えるよう十分注意する。 ・生活や遊びの中で、自分でしようとする気持ちを大切にいき、自分で出来た時は認め、自信がもてるようにする。 ・絵カードなどを使って、片付ける場所や片づけ方を明確にし、片付けがしやすいように工夫する。 ・プール後の水着の着脱や、頭や背中など拭きにくいところは保育者も一緒にに行い、出来た満足感が味わえるようにする。 ・プール遊びや水遊びが楽しめるよう、簡単なゲームや遊具などを取り入れる。 ・プールを使用する時間帯、掃除の仕方、消毒などの当番、管理担当などを決め職員間で確認しあう。 ・異年齢児と遊びや生活を一緒にする中で、安心してかわりながら遊べるようにする。 ・濡れた水着のまま滑りそうなどでは遊ばないなどの約束や、プールの周りでは走らないなどの決まりの必要性を、その都度知らせ、安全に対する意識をもたせる。 ・子ども同士の遊びを側で見守りつつ、怪我をしそうなトラブルが起きた時はすぐに対応し子どもの思いを受け止めながら、相手の思いにも気づくようにする。 ・保育者も地域の行事や伝承行事に対して関心を高め、積極的に子ども達と嬉しさや楽しさを共有していく。 ・生き物との出会いや、たくさんの野菜の収穫などを楽しみ、触れたり、世話をしたり、味わったりできるようにする。 ・子どもが繰り返し尋ねてくる時は快く応じ、子どもの疑問に丁寧に対応するよう心がける。 ・楽しかった思い出を、話しやすいよう相づちを打ったり、聞いている子ども達にも共通点を見つけ、話を聞こうとする気持ちをもてるようにする。 ・体験したことと、結びついた絵本や図鑑などを通して、夏の事象や生活への関心を広げられるようにする。 ・冷たい、軟らかい、硬いなど触れてわかる感覚が楽しめる教材を工夫して用意し、保育者も一緒に遊びながら感じたことを表現したり子どもの思いに共感したりする。 	
(家庭・学校等との連携)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の生活リズムが崩れやすいため、家庭と連携して一人一人の生活リズムを把握し、栄養、休息、睡眠をしっかりとり、規則正しく過ごしてもらうようにする。 ・家庭に、栄養バランスの摂れた献立の情報を提供する。 ・汗をかいたり、汚れたりすることが多いので、多めに着替えを用意してもらう。 ・水遊びやプール遊びができるかできないかを把握するために、チェック表やたよりに必ず記入してもらう。 ・地域と園との行事の情報共有を図り、子どもの体験場所の広がりを演出する。 ・地域の伝統的な祭りなどに参加し、伝統的な行事に関心を深めてもらう。 	

3歳 9月

<p>発達 子どもの 主な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みが終わり、友達や保育者との再会を喜び、久しぶりの登園を楽しみにしている子ども、保護者と離れられない子ども、久しぶりの園生活に不安な気持ちになっている子どもなどさまざまな姿が見られる。また、園生活や生活習慣の面では、忘れていたこともあるが、生活を共にしながら声掛けをすると思いだし、しようとする姿が見られる。(幼) 生活の流れがわかってきて身の回りのことを自分から進んでしようとし、保育者に声をかけてもらいながらできるようになってきている。大半の子どもは、自分の物と友達のものとの区別はできるが、区別がつきにくい子どももいる。 土や水に触れるなどの夏の遊びを通してたくましくなり、ダイナミックに友達と遊ぶ姿が見られる。プール遊びを楽しみにして水着に準備して着替える姿も見られる。夏の暑さの疲れから生活のリズムが乱れたり、体調を崩したりする子どももいる。 遊びの活動範囲も広がり、友達とかかわりも、物の取り合いや座る場所などのトラブルが見られ、自己主張をする姿がよく見られる。 散歩や集まりなどの時に、子ども同士で二人組になることができる。輪になることやまっすぐ並ぶこと、間隔をあけることができにくい。 運動会に向けて、保育者の真似をしながら、体操や踊りなどを動かす活動を楽しむ子どもや、見ている子ども、同じようにはできないが、年中・年長児のしていることに興味をもち、やってみようとする子どももいる。 保育者と簡単なルールのある遊びを楽しむ。合図・順番・交代などの約束が少しずつ理解できるようになる。興味をもって楽しめる子どもやどうしていいかわからずじっとして保育者の側にいる子どもの姿も見られる。 運動会に使うもの(旗や小道具)を保育者と一緒に作ることで、運動会を楽しみにする姿が見られる。 バッタやトンボを見ついたり、年長児に捕まえてもらったりして、虫かごに入れて、動く様子や大きさ、形、色など興味をもって見たりする。 										
<p>(ねらい) 教育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園生活のリズムを取り戻し、安心して過ごす。(幼) 生活の流れがわかり、身の回りのことを自分から進んでしようとする。 運動会に期待感をもち、走ったり踊ったりなど全身を使った遊びをしたり、保育者や友達と一緒に体を動かしたりすることを楽しむ。 運動や休息のバランスをとって、安定したリズムで過ごせるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="228 651 268 763">健康な心と体</td> <td data-bbox="268 651 1380 763"> <ul style="list-style-type: none"> はしの持ち方に気を付け、よい姿勢で食事をする。 排泄後は、自分で始末をしたり手洗いをしたりする。 リズムに合わせて体を動かしたり、かけっこしたりして、体を動かす心地よさを感じて遊ぶ。 活動の合間に水分補給をしたり、汗をかいたら着替えたり、適度な休息や午睡をとる。 活動後はシャワーを浴びたり、自分で手足を洗ったり、汗の始末や汚れた服の始末などをする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 763 268 853">人間関係</td> <td data-bbox="268 763 1380 853"> <ul style="list-style-type: none"> 遊びに必要な簡単なルールを知り、友達や身近な人と一緒に簡単な運動遊びをする。 同じ場で遊んでいる友達に気付き、かかわって遊ぶ。 同年齢の友達と一緒に活動したり、異年齢の友達の運動会の取り組みを見て応援したり、応援されたりして喜ぶ。 祖父母に親しみをもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 853 268 943">自信と信頼</td> <td data-bbox="268 853 1380 943"> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな運動用具での遊びを楽しむ。(フープ、ボールなど) 朝顔、ひまわりの種取りをして遊ぶ。 お月見会に参加し、すすきや団子を飾り、十五夜や秋の収穫に関心をもつ。 身近な虫を見たり触れたりして遊ぶ。バッタ、コオロギなど </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 943 268 1077">命と自然</td> <td data-bbox="268 943 1380 1077"> <ul style="list-style-type: none"> 「かして」「いれて」など、遊びや生活に必要な言葉を知り、使おうとする。 保育者や友達に自分の思いを言葉や態度で伝える。 保育者や友達とのやりとりを楽しみながらごっこ遊びをする。 夏に経験した楽しかったことなどを保育者や友達に言葉で伝える。 保育者に困った事や体調が悪いことなどを、自分から話す。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="228 1077 268 1167">豊かな表現</td> <td data-bbox="268 1077 1380 1167"> <ul style="list-style-type: none"> 季節の歌をうったり、運動会やお月見に関する絵本や紙芝居を読んでもらったりする。 音楽やリズムに合わせて、体操をしたり、踊ったりする 保育者と一緒に運動会に使うもの(旗、小道具)を作る。 </td> </tr> </table>	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> はしの持ち方に気を付け、よい姿勢で食事をする。 排泄後は、自分で始末をしたり手洗いをしたりする。 リズムに合わせて体を動かしたり、かけっこしたりして、体を動かす心地よさを感じて遊ぶ。 活動の合間に水分補給をしたり、汗をかいたら着替えたり、適度な休息や午睡をとる。 活動後はシャワーを浴びたり、自分で手足を洗ったり、汗の始末や汚れた服の始末などをする。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 遊びに必要な簡単なルールを知り、友達や身近な人と一緒に簡単な運動遊びをする。 同じ場で遊んでいる友達に気付き、かかわって遊ぶ。 同年齢の友達と一緒に活動したり、異年齢の友達の運動会の取り組みを見て応援したり、応援されたりして喜ぶ。 祖父母に親しみをもつ。 	自信と信頼	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな運動用具での遊びを楽しむ。(フープ、ボールなど) 朝顔、ひまわりの種取りをして遊ぶ。 お月見会に参加し、すすきや団子を飾り、十五夜や秋の収穫に関心をもつ。 身近な虫を見たり触れたりして遊ぶ。バッタ、コオロギなど 	命と自然	<ul style="list-style-type: none"> 「かして」「いれて」など、遊びや生活に必要な言葉を知り、使おうとする。 保育者や友達に自分の思いを言葉や態度で伝える。 保育者や友達とのやりとりを楽しみながらごっこ遊びをする。 夏に経験した楽しかったことなどを保育者や友達に言葉で伝える。 保育者に困った事や体調が悪いことなどを、自分から話す。 	豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> 季節の歌をうったり、運動会やお月見に関する絵本や紙芝居を読んでもらったりする。 音楽やリズムに合わせて、体操をしたり、踊ったりする 保育者と一緒に運動会に使うもの(旗、小道具)を作る。
健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> はしの持ち方に気を付け、よい姿勢で食事をする。 排泄後は、自分で始末をしたり手洗いをしたりする。 リズムに合わせて体を動かしたり、かけっこしたりして、体を動かす心地よさを感じて遊ぶ。 活動の合間に水分補給をしたり、汗をかいたら着替えたり、適度な休息や午睡をとる。 活動後はシャワーを浴びたり、自分で手足を洗ったり、汗の始末や汚れた服の始末などをする。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 遊びに必要な簡単なルールを知り、友達や身近な人と一緒に簡単な運動遊びをする。 同じ場で遊んでいる友達に気付き、かかわって遊ぶ。 同年齢の友達と一緒に活動したり、異年齢の友達の運動会の取り組みを見て応援したり、応援されたりして喜ぶ。 祖父母に親しみをもつ。 										
自信と信頼	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな運動用具での遊びを楽しむ。(フープ、ボールなど) 朝顔、ひまわりの種取りをして遊ぶ。 お月見会に参加し、すすきや団子を飾り、十五夜や秋の収穫に関心をもつ。 身近な虫を見たり触れたりして遊ぶ。バッタ、コオロギなど 										
命と自然	<ul style="list-style-type: none"> 「かして」「いれて」など、遊びや生活に必要な言葉を知り、使おうとする。 保育者や友達に自分の思いを言葉や態度で伝える。 保育者や友達とのやりとりを楽しみながらごっこ遊びをする。 夏に経験した楽しかったことなどを保育者や友達に言葉で伝える。 保育者に困った事や体調が悪いことなどを、自分から話す。 										
豊かな表現	<ul style="list-style-type: none"> 季節の歌をうったり、運動会やお月見に関する絵本や紙芝居を読んでもらったりする。 音楽やリズムに合わせて、体操をしたり、踊ったりする 保育者と一緒に運動会に使うもの(旗、小道具)を作る。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> 久しぶりの登園なので、うれしい気持ちや不安な気持ちを受け止めながら、安心できるような言葉がけをしたり、スキンシップをとるようにしたりし、一人一人温かく迎える。夏休みをどのように過ごしていたのかを聞いたり、自分から話そうとする幼児にはしっかり耳を傾け、共感しながら気持ちを受け止めるようにする。(幼) 園生活のリズムを取り戻せるように、環境設定は、1学期の終わりと同じようにして、幼児が園生活を思い出し、安心して過ごすことができるようにする。それに加えて、夏休みの経験がいかせるような遊びを取り入れていく。(幼) はしの持ち方、正しい姿勢、適度な声の大きさなどをその都度知らせながら、楽しい雰囲気の中で食事ができるようにする。 排泄後は自分で始末ができるように仕方を知らせたり、自分でする様子を見守ったりして、必要な援助をしていく。 一人一人の頑張りをしっかり認め、自信につながるようにする。また、運動会後も継続して運動会ごっこができるようにする。 自分の物と友達のものとの区別がつきにくい子どもに対しては、個別に意識づけをしていく。 簡単なルールのある遊びをすることで、合図や順番・交代などの約束が少しずつ理解できるように配慮する。 好きな遊びをしっかりと楽しめるように、また、近くにいる友達と同じことがしてみたいという気持ちが満たされるように、遊具を少し多めに用意したり、状況に応じてすぐに出せるようにしたりする。 年中・年長児の運動会に向けての活動を見たり、時には仲間に入れてもらって楽しさを味わい、運動会への期待が高まるようにする。 一日の流れが分かるようにし、生活に見通しができるように絵カードを使ったり声掛けをしたりなど工夫し見届けるようにする。 捕まえてきた小動物などは、子どもたちと相談して、飼育したり、放してやったりする。 日常生活や遊びの中で子どもたちの発見や気付きに共感し、さらに興味関心が深まるようにする。また、一人一人の気付きについて子どもたちに伝える機会をもつ。 残暑が厳しい中で、子どもたちの様子を見ながら、熱中症にならないために、日陰で休息をとったり、こまめに水分補給をするように心がけたりし、健康に十分留意し、運動会へ向けての取り組みを無理なく進めていくようにする。 運動会の踊りや体操などの曲を流して、一緒に踊れるコーナーを作る。不安な気持ちになっている子どもには、保育者や友達と一緒に踊ったりして楽しさや心地よさを共感し合い、楽しめるようにする。 楽しみながら運動会の活動に参加できるよう早めに計画をしたり、保育者間で連携をとったりする。 遊びの中で保育者自身が「かして」「いれて」などの言葉をつかい、生活に必要な言葉に気付き、使うことができるようにする。 一人一人の子どもの興味や意欲を大切に、走ったり跳んだりすることが楽しめるように工夫する。また、リズムカルで親しみやすい曲を取り入れ、自然に体を動かしたくなるような音楽をかけ、喜んでできるようにする。 										
<p>(家庭・地域との連携) 小学校等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活のリズムを取り戻して、スムーズに登園できるよう早寝早起き期ごはんなどの生活習慣についてお願いし、再び始まった園の生活の様子を丁寧に伝え安心してもらうことができるようにする。(幼) 休み明けや残暑、運動会の練習など、疲れが出やすい時期なので、家庭でもしっかり食事、睡眠、休息をとるように伝える。 汗をかいたり、汚れたりすることも多いので、活動や気温差に応じて衣服の調節ができるような服を準備してもらい小さな物にも名前を書いてもらうようにする。 暑い日が続くため水筒の用意、着替えの補充をお願いし、衛生面に配慮する。 運動会のみどころや、頑張ってきたことなどを、おたよりを通して知らせ、家庭でも誉めたり、励ましたりしながら楽しく運動会に参加できるように声かけをしてもらい、子どもたちの様子や成長の姿を保護者に見てもらえるようにする。 運動会の活動を通して、地域の人に親しみ「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたり、挨拶を交わしたりし親しみもてるようにする。 防災の日に触れ、園での避難訓練の様子を伝えたり、家庭でも話をする機会をつくってもらう。 祖父母にはがきを送るなどの方法で、元気に頑張っていることを伝え、つながりを深める。 										

3歳児 10月

発達 こと もの 特徴		<ul style="list-style-type: none"> ・運動会に向けて、走る、跳ぶなどの動きを喜んで一生懸命取り組む姿が見られる。 ・鬼ごっこなど、群れて遊ぶあそびを、保育者や友達と一緒に楽しむ姿が見られる。鬼になるより、追いかけることを喜ぶ。 ・体もぐんと大きくなり食欲が増えてきているが、はしの持ち方やよい姿勢で食事をする習慣については個人差がある。 ・朝夕が涼しくなり、日中との気温の変化で体調を崩す子どももいる。自分で気付いて、鼻水をティッシュで拭いたり鼻をかむことができる子どももいるが、きれいにすることはできない。 ・身の回りのことを自分でやろうという気持ちがあるが、まだ、保育者の援助が必要な子どももいる。 ・ご飯を食べたら歯ブラシを取りに行き行って磨こうとするが、口の中をきれいにするには十分でない。 ・運動会を通して、保育者や友達と体を動かす楽しさや決まりを守ることを知り、集団行動をしている。また、運動会後も異年齢児にまじって、かけっこや、リズムダンスを楽しむ姿が見られる。 ・順番を抜かすことや物の取り合いをすることからトラブルになる子どもがいる。また、困っている友達に「どうしたの?」と自分なりにかわらうとする姿が見られる。 ・仲良しの友達ができ、好きな遊びと一緒に楽しむようになってくる反面、気に入らないことがあるとその遊びをやめてしまうことがある。 ・異年齢の友達がいることに興味をもち、見せてもらうことを喜んで自分もやってみようとしたりする。 ・お祭りを体験し、地域でだんじりやおみこしを見たり乗ったりしたことを嬉しそうに話す子どもがいる。年中・年長児のするおまつりごっこに喜んで参加する。 ・ドングリを見つけると嬉しそうにポケットに入れたり、手に握り締めたりする。 ・ヤマコボクを遊びに使い、手でつぶして手が紫色になったり、汁が出たりすることを喜び、色水作りなどの遊びを楽しむ子どもがいる。ドングリや落ち葉、さつまいも掘りなど、秋の自然に触れて遊んだり収穫を喜んで見られる。 ・芋掘りでは、どこを掘って良いのかわからなかったり、途中であきらめたりする子どももいるが、一緒に掘っていく事で、芋が掘れた時の喜びや感動、収穫の喜びを感じることができている。 ・言葉で相手に自分の思ったことを伝えようとするが、うまく伝わらず、たたいたり押ししたりしてトラブルになることがある。 ・友達と一緒に簡単なお手伝いや仕事をする当番活動が始まり、楽しみにする姿が見られる。当番になった子どもは、緊張しながらも喜んで、みんなの前で名前を言ったり、お弁当、給食の時「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をしたりしている。 ・2～3人でかたまっても遊んだり、言葉をやりとりしたりする姿が見られ、友達の存在を意識しはじめる。
(教育 ・養 い 目)		<ul style="list-style-type: none"> ・友達や保育者や異年齢の友達と一緒に遊びを楽しむ。 ・好きな遊びを通して友達とのかわりを楽しむ。 ・保育者や友達と一緒に、簡単なルールを守って、のびのび体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・自分の気持ちや考えを安心して、言葉や態度で表す。 ・生活に見通しをもち、身の回りのことを自分でしようとする。 ・木の実や木の葉を探したり、集めたりなどいろいろな自然物に触れて遊んだり、散歩したりして、秋の自然に親しむ。 ・朝夕と日中の気温差や活動に応じて衣服の調節をおこない、気持ちよく過ごせるようにする。
経験 させ たい 内容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・箸の持ち方に気を付け、よい姿勢で食事をする。 ・食べた後、歯磨きをして口の中をきれいにする。 ・戸外で体を動かして遊び、固定遊具に挑戦する。 ・外遊びから室内に入る時などは、衣服の汚れを気にしたり、手洗い・うがいをしたりする。 ・汗の始末や、着替えを自分から進んでする。 ・保育者と一緒に鼻水は片方ずつかむ。 ・自分のことなどが自分でできたことを喜び、またやってみようとする。 ・保育者や友達と一緒に楽しんで、鬼ごっこなどの遊びをする。
	人間 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に、簡単なルールのある遊びを楽しんでみる。 ・遊具や玩具の貸し借りをして遊んだり、順番を待つことの大切さを知る。 ・友達と一緒にごっこ遊びを楽しんでみる。 ・好きな遊びを友達と声をかけ合っている。 ・異年齢の友達がいることに興味をもち、自分もやってみようとする。 ・行事に喜んで参加し、家族や異年齢児や地域の方と触れ合う。
	命 と 自然	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会で使った道具などを使って遊ぶ。 ・木の葉の色の変化や、空の色、雲の様子を見て、秋の季節を感じる。 ・園外保育に出かけ、落ち葉や木の葉を拾って遊ぶ。 ・木の葉や葉っぱなど、身近な自然に親しみをもち、楽しんで遊びに取り入れる。 ・さつまいもの収穫を喜び、みんなで食べる。 ・チューリップの球根を植え、水やりなどの世話をする。
	豊 か な 情 境	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや、思ったことを保育者や友達の前で話をする。 ・ごっこ遊びの中で自分の思いや感じたことを保育者や友達に言葉で伝える。 ・「かして」「いれて」など遊びや生活に必要な言葉を知り、状況に応じて使う。
	表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材(木の葉、木の葉、さつまいも)を使って作ったり描いたりすることを楽しみ、できたものを飾ったり遊んだりする。 ・楽器に触れ、リズム遊びを楽しみ、リズムに合わせて体を動かしたり踊ったりする。
環 境 構 成 と 援 助		<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で食事ができるようになりながら、箸の持ち方、正しい姿勢、適度な声の大きさなど、その都度知らせていく。 ・正しい歯磨きの仕方を知らせ、習慣が身に付くようにする。 ・衣服をきちんとたためている子どもにも、手本になってもらうなどして、身の回りのことをきちんとしようとする気持ちが育つようにする。 ・自分では体温調節ができていないので、保育者が声をかけて、衣服の調節ができるようにする。 ・一人でできた時や、自分から進んでしようとした時は十分認めて共に喜び、次の意欲につなげていく。 ・運動会での経験を生かし、運動遊びをしたり、体操、踊りのコーナーなどを作る。 ・いろいろな運動遊びが楽しいと感じられるように励ましたり、援助したり環境を設定したりし、一人一人の頑張りをしっかり認め、自信がもてるようにする。 ・友達へ関心が高まる時期なので、ルールのある遊びを知らせたり、簡単な言葉のやりとりを楽しめる遊びを取り入れたり、保育者も一緒に遊び、友達とかわって遊ぶことが楽しめるようにする。 ・年上のクラスと一緒に生活したり一緒に遊ぶ機会をつくらせたりする中で、真似をしたりリードされたりしながら興味をもてるようにする。 ・トラブルが起きた時には、それぞれの思いをしっかりと聞き、自分の思いを出し合え、言葉で表現できるように構造化をしていく。 ・散歩に出かけ自然物を集められるよう、事前に散歩コースをしらべておく。 ・クラスの友達全員で同じ遊びを楽しめる機会を作って、物の貸し借りや順番を守るなどを知らせ、一人一人の要求や思いをくみ取りながら、我慢することも知らせる。 ・さつまいも掘りでは、保育者と一緒に掘っていくが、自分でほれたという喜びを感じられるようにする。そして、掘っている時の子どもから出てくる言葉に共感し、重い、大きいなど収穫の喜びが味わえるようにする。また、畑の様子や、虫などに気付かせたり、土の感触を味わったりできるようにする。 ・秋の自然に触れる機会を多くもち、子どもの発見や気づきに共感しさらに興味や関心が深まるようにする。また、ドングリ拾いや葉っぱ拾いを楽しみ、持ち帰った自然物でマラカスやこまを作ったり、好きな遊びに取り入れれたりできるように遊び方を提示したり、材料を用意しておいたりなど環境を整える。 ・楽しかったことなどを自分の言葉で伝えられるようにする。友達の話にも興味をもって聞けるような言葉がけをする。 ・保育者が正しい言葉をつかい、生活や遊びの中で正しい言葉の習得につなげる。 ・自分の作品を見せ合ったり、飾りつけしながら自分で作る楽しさが味わえるようにする。 ・いろいろな素材を使って製作することを楽しめるように、はさみやのりの使い方を繰り返し知らせる。
運 送 ・ 地 域 と の 関 係		<ul style="list-style-type: none"> ・肌寒くなってくるが、日中は暑いので、厚着にならないようお願いします。 ・気温の差が激しくなるので、ロッカー内の着替えを調節しやすい服に入れ替えてもらう。 ・うがいや鼻水の始末を進んでしようとする姿を認めたり、見守ったりしてもらうように伝え、園と家庭の生活がつながるように協力を依頼する。 ・運動会後の一人一人の成長を伝え合い、家庭でもたくさんほめてもらい、より自信がもてるようにする。 ・芋ほりなど園外保育で、地域の方と触れ合う機会が多くなるので、気持ちのよい挨拶や会話が交わされるようにする。

3歳児 11月

発達 こ の 主 な 特 徴		<ul style="list-style-type: none"> ・寒くなり、上着を着てくる子どもが増えるが、まだ、自分でボタンやファスナーの開閉ができない子どももいる。 ・身の回りの始末はだいたい自分でできるようになるが友達との遊びやおしゃべりに夢中になり、雑になったり、時間がかかったりする子どももいる。また、衣服の裏返しに気がなかつたり、帰りの仕度をしないで遊んだりする姿が見られる。 ・「ごっこしよう」と、友達を誘って一緒に遊ぼうとしたり、好きな友達と同じことをして遊びたがったりするが一方で、遊びに入れないことや、遊具の貸し借りで友達とトラブルになることもある。 ・これまで一人遊びを楽しんでいた子どもも、友達のしている遊びに関心をもち、一緒に遊ぶ姿が見られる。そして、仲間意識が芽生え、友達のことを心配したり、受け入れたりする姿が見られる。 ・散歩に出かけ、どんぐりやまつぼっくりを拾って楽しんだり、拾ったどんぐりでマラカスを作ったり、転がして遊んだりすることを楽しむ。 ・赤や黄色に色づいた葉っぱを喜んで集めたり、風で舞って落ちる葉っぱを追いかけたりしながら、秋の自然を楽しむ姿がみられる。
(教育・養育) ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達と一緒にいろいろな遊びに取組む楽しさを味わう。 ・体をしっかり動かす遊びや簡単なルールある遊び、ごっこ遊びを通して友達とのかかわりを楽しむ。 ・冬に向けての生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ・秋の自然に触れ、興味関心をもち、自然物を使った遊びを楽しむ。 ・寒暖の差が激しくなるので、冬の生活習慣を知らせ、一人一人の体調に留意し、健康に過ごせるようにする。
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで楽しく食事をする中で、友達の刺激を受け、さまざまな食べ物を食べる。 ・気温の変化に合わせて、衣類の脱ぎ着をして快適に過ごす。 ・上着の着脱(裏返し・ボタンの掛け違い・ファスナーなど)の仕方を知り、自分でできることは自分でする。 ・うがい・手洗いを丁寧に、風邪の予防に気を付ける。 ・戸外で思いっきり体を動かし遊ぶ。 ・鬼ごっこなど、友達と一緒にルールある遊びをする。
	人間 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や異年齢児や友達の真似をしたり、かかわったりして一緒に遊ぶ。 ・経験したことをもとに、イメージや思いをもって友達と一緒に遊ぶ。 ・遊びの中に自分からかかわったり、友達を誘ったりして、気の合う友達と一緒に遊ぶ。 ・トラブルを経験しながら、少しずつ友達の気持ちに気付く。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩に出かけ、葉や木の葉の色や形に興味・関心をもち、どんぐりやまつぼっくりなどを拾うなどして秋の自然に触れる。 ・木の葉や木の葉を集めて、マラカス作りや飾りに使ってケーキ作りをするなど、遊びに取り入れる。 ・身近に働いている人たちを知る。 ・秋の自然物(収穫したものなど)に触れたり、感じたり、味わったりする。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりする。 ・簡単なルールのある遊び(あぶくたつた しっぽとりなど)の中で言葉のやりとりを楽しんでする。 ・気に入った絵本に親しむことで、保育者と一緒に繰り返しの言葉を言ったり、いろいろな言葉を使ってごっこ遊びを楽しんだりする。 ・絵本やお話を楽しむ中で、イメージを話したり、友達の話も聞こうとしたりする。 ・いろいろな場面で「なぜ」「どうして」などと質問したり、みんなの前でしたこと、見たことを自分なりの言葉で表現する。 ・ごっこ遊びで役になりきったり、ストーリーに沿いながら役になりきって遊んだりする。
	豊 か な 情 操 と 賢 さ	<ul style="list-style-type: none"> ・見立てたり、イメージしたものを作ったり、ごっこ遊びに取り入れたいりして遊ぶ。 ・好きな動物や人物になって身体表現をする。 ・リズムカルな曲に合わせて簡単な楽器を鳴らして遊ぶ。 ・友達と一緒に楽しんで歌をうたう。 ・木の葉や葉っぱを使い構成遊びや色彩遊びなどいろいろなものを作って遊ぶ。 ・身近な素材や廃材を使って作ったり、描いたりしたもので遊んだりする。
環 境 構 成 と 援 助		<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する絵本や紙芝居などを利用し、手洗い・うがいの必要性を知らせる。手を洗う時は、袖をあげ水にぬれないようにすることを伝え、保育者も一緒に手を洗いながら側から見守るなど丁寧に知らせていく。 ・身の回りのことを自分から進んでやっている子どもは認め、意欲的に取り組めるように励ましていく。気がない子どもには、何気ない声をかけたりして、自分から気付くように促すなど、できるだけ自分でできたという満足感や自信を持たせていく。 ・気温や活動に合わせて衣服の調整に、その都度気付かせて、薄着の習慣が身に付けられるようにする。 ・子ども一人一人が自分から遊び始める姿を見守り、自分でしたい意欲や自分の力で「できた」という思いを大事にする。 ・トラブルの際は、それぞれの思いを受け止め、保育者が言葉を添えたり、代弁しながら相手の思いに気付くようにする。 ・子どもの生活体験からの、イメージのふくらみを大切にしながら、保育者もごっこ遊びに参加し、子どもの言葉や動きに合わせて楽しんでいく。 ・落ち葉の上を歩いて感触を味わったり、踏みしめた音を聞いたり、落ち葉を降らせたりして、全身で秋を感じられるようにする。 ・秋の自然物に触れる機会をもち、落ち葉の色の美しさや違いなど、子どもからの発見や驚きに共感していく。また、集めた木の葉や木の葉を飾ったり、触れて遊んだりできるコーナーを設定する。 ・ごっこ遊びの中で、自分から制作を楽しめるような素材や材料を準備する。 ・遊びに必要な素材や廃材を豊富に準備し、お店屋さんごっこに向けて、制作することを楽しませるようにする。 ・友達と歌ったり、楽器に親しんだりできるように、カスタネット・すず・タンバリン・トライアングルなどを用意しておく。
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携 (小 学 校 等)		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変わりめや感染症が流行し始める時期なので、家庭でも手洗い、うがいなどを習慣づけ、健康管理ができるように知らせる。 ・上着は着脱しやすく、自分で始末できるものを用意してもらい、フックにかけられるように襟元にループをつけるようにお願いをする。 ・薄着の習慣が身に着くよう協力をお願いする。 ・自分でできるようになったこと、成長したことを伝え、家庭でも自分でしようとしていることを見守り、話題にしてもらう。

3歳児 12月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことやうがいなど自分でしようとする子どもがいるが、言葉がけが必要であったり、鼻をかむことや衣服の調整などに援助が必要な子どももいる。 ・簡単なルールのある遊び（鬼ごっこやかくれんぼなど）の遊び方がわかり、友達と一緒に楽しんでいる。 ・友達や保育者と一緒に戸外に出て、ボール遊びや追いかけっこなど体を動かす遊びを楽しむ子どももいるが、あまり戸外に出たがらず室内で過ごす姿も増えてくる。 ・日頃親しんでいた話が「ごっこ遊び」になったり、ままごと、ブロック、積木などを自由に移動させたりして、遊びの場や内容を広げて楽しむ姿が見られる。 ・気の合う友達の登園を楽しみに待ち、「ちゃん、遊ぼう！」「入れて」と遊びに誘ったり、自分たちで遊びを進めたりして楽しんで遊ぶ姿が見られ、自分のやりたい遊びにじっくりとかかわって遊ぶようになってきている。 ・泣いている友達や困っている友達に気づき、「どうしたん？」「～してあげようか？」などの言葉をかけることができる子どももいる。 										
<p>（教育・養護）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず、戸外で保育者や友達と一緒に体を動かして元気に遊ぶ。 ・経験したこと、思ったこと、感じたことなどを表現することを楽しむ。 ・行事や年末年始の生活に関心をもつ。 ・寒さや活動に応じて環境に留意し、健康で安全に過ごせるようにする。 ・一人一人の気持ちや考えを受け止め、意欲的に生活や遊びができるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="245 689 363 880"> <p>健康な心と体</p> </td> <td data-bbox="363 689 1358 880"> <ul style="list-style-type: none"> ・室内外の気温の変化に気づき、衣服の調節をし、薄着で生活しようとする。 ・防寒着の着脱や片づけ方を知り、自分でやろうとする。 ・手洗いやうがいの必要性を知り、進んで行う。 ・鼻水が出たら拭いたりかんだりすることで、心地よさや清潔感を知る。 ・冬の寒さを感じとり、動くことで体が温まることを知る。 ・戸外で、縄遊び、ボール遊び、鬼ごっこ、かけっこなど、体を動かして遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="245 880 363 969"> <p>人間関係</p> </td> <td data-bbox="363 880 1358 969"> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びのきまりや約束を守りながら、友達と一緒に楽しんで遊ぶ。 ・友達と一緒に、まねをして、同じような動きを楽しんで遊ぶ。 ・友達や保育者の手伝いを喜ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="245 969 363 1126"> <p>自信と信頼</p> </td> <td data-bbox="363 969 1358 1126"> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然に触れ、葉の落ちた木々の色、形の様子や吹く風の冷たさ、陽だまりの暖かさに気づくなど自然の変化や身近な事象に目を向ける。 ・身近な動物の冬眠を知る。 ・みんなと一緒にいろいろな行事に楽しんで参加する。 ・冬休みや正月が来ることを知り、年末年始の生活や行事に関心をもつ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="245 1126 363 1216"> <p>命と自然</p> </td> <td data-bbox="363 1126 1358 1216"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話を聞いたり、見たりしたことなど体験したことをみんなの前で話す。 ・物語などの内容からイメージを広げ、なりたいものになりきって遊ぶ中で、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="245 1216 363 1317"> <p>豊かな情操</p> </td> <td data-bbox="363 1216 1358 1317"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達や異年齢児と一緒に歌をうったり、踊ったり、楽器を鳴らしたりする。 ・絵本や話の中の登場人物になって遊び、イメージしたことを自分なりに表現する。 ・いろいろな素材や用具を使って、楽しんで作ったり、描いたり、飾ったりする。 </td> </tr> </table>	<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・室内外の気温の変化に気づき、衣服の調節をし、薄着で生活しようとする。 ・防寒着の着脱や片づけ方を知り、自分でやろうとする。 ・手洗いやうがいの必要性を知り、進んで行う。 ・鼻水が出たら拭いたりかんだりすることで、心地よさや清潔感を知る。 ・冬の寒さを感じとり、動くことで体が温まることを知る。 ・戸外で、縄遊び、ボール遊び、鬼ごっこ、かけっこなど、体を動かして遊ぶ。 	<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びのきまりや約束を守りながら、友達と一緒に楽しんで遊ぶ。 ・友達と一緒に、まねをして、同じような動きを楽しんで遊ぶ。 ・友達や保育者の手伝いを喜ぶ。 	<p>自信と信頼</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然に触れ、葉の落ちた木々の色、形の様子や吹く風の冷たさ、陽だまりの暖かさに気づくなど自然の変化や身近な事象に目を向ける。 ・身近な動物の冬眠を知る。 ・みんなと一緒にいろいろな行事に楽しんで参加する。 ・冬休みや正月が来ることを知り、年末年始の生活や行事に関心をもつ。 	<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話を聞いたり、見たりしたことなど体験したことをみんなの前で話す。 ・物語などの内容からイメージを広げ、なりたいものになりきって遊ぶ中で、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 	<p>豊かな情操</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や異年齢児と一緒に歌をうったり、踊ったり、楽器を鳴らしたりする。 ・絵本や話の中の登場人物になって遊び、イメージしたことを自分なりに表現する。 ・いろいろな素材や用具を使って、楽しんで作ったり、描いたり、飾ったりする。
<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・室内外の気温の変化に気づき、衣服の調節をし、薄着で生活しようとする。 ・防寒着の着脱や片づけ方を知り、自分でやろうとする。 ・手洗いやうがいの必要性を知り、進んで行う。 ・鼻水が出たら拭いたりかんだりすることで、心地よさや清潔感を知る。 ・冬の寒さを感じとり、動くことで体が温まることを知る。 ・戸外で、縄遊び、ボール遊び、鬼ごっこ、かけっこなど、体を動かして遊ぶ。 										
<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びのきまりや約束を守りながら、友達と一緒に楽しんで遊ぶ。 ・友達と一緒に、まねをして、同じような動きを楽しんで遊ぶ。 ・友達や保育者の手伝いを喜ぶ。 										
<p>自信と信頼</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然に触れ、葉の落ちた木々の色、形の様子や吹く風の冷たさ、陽だまりの暖かさに気づくなど自然の変化や身近な事象に目を向ける。 ・身近な動物の冬眠を知る。 ・みんなと一緒にいろいろな行事に楽しんで参加する。 ・冬休みや正月が来ることを知り、年末年始の生活や行事に関心をもつ。 										
<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の話を聞いたり、見たりしたことなど体験したことをみんなの前で話す。 ・物語などの内容からイメージを広げ、なりたいものになりきって遊ぶ中で、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 										
<p>豊かな情操</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や異年齢児と一緒に歌をうったり、踊ったり、楽器を鳴らしたりする。 ・絵本や話の中の登場人物になって遊び、イメージしたことを自分なりに表現する。 ・いろいろな素材や用具を使って、楽しんで作ったり、描いたり、飾ったりする。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さのため手洗いやうがいがおろそかにならないように、保育者が手本を見せるなどして、大切さを知らせる。 ・保育者も一緒に戸外に出て体を動かし、体が温くなる心地良さが味わえるようにする。 ・子どもの動き、言葉、表情から、それぞれの思いを丁寧に受け止めていき、遊びに満足感がもてるようにする。 ・興味を持った遊びに何度も繰り返して遊んでいる姿を認め、楽しさが感じられるように声をかける。 ・気温の変化に応じて暖房器具を使用し、室温・温度・換気に留意しながら、安全で快適な生活ができるようにする。 ・暖房器具の取り扱いについて、家庭での生活も含めて、火や熱の危険について話し合う。 ・大掃除を通して保育者と一緒に自分のロッカーや玩具などを拭き、きれいにする気持ち良さや年末に向けての雰囲気味わえるようにする。 ・保育者が年末年始の様子や自然の変化などを意識して子ども達に伝え、関心を高めるようにする。 ・自分の発想や感じたこと、体験したことなどを言葉で伝えたり、イメージしたものを作ろうとする子どもの気持ちを大切に受け止め、しっかりと耳を傾ける。 ・友達と歌をうったり、楽器に親しんだりできるよう、カスタネット・すず・タンバリン・トライアングルなどを用意し、親しんでいる曲やリズムがとりやすい曲をかけた。 										
<p>家庭・地域の連携（小学校等との連携）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防寒着は、名前をわかりやすくしてもらい、子どもが動きやすく着脱しやすいものを用意してもらう。 ・寒さに向かって健康管理（衣服の着脱・手洗いやうがい・生活リズムを崩さないなど）の必要性と具体的な方法について伝える。 ・冬休みの過ごし方について手紙を配布し、生活リズムを崩さないことや場面に応じて挨拶をすること、手伝いすることなどに意識して取り組めるようにする。 ・年末を迎える準備や正月遊びを通して、子どもとの触れ合いの時間を大切にもらう。 										

3歳児 1月

<p>発達 の 主 な 特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み明けには元気に登園し、友達や保育者との再会を喜んで、冬休みの出来事を友達や保育者に嬉しそうに話す姿が見られる。しかし、休み明けで生活リズムが不規則になったり、登園時保護者との別れを辛そうにしたりする子どももいる。 ・戸外で元気に遊ぶ姿が見られるが、寒さのため戸外にでることを嫌がる子どももいる。 ・身の回りのことができるようになるが、寒さのために着脱を嫌がったり、冷たい水での手洗いうがいを嫌がる子どももいる。 ・上着のファスナーやボタンを、少しずつ自分でしようとする姿が見られる。その反面、すべて保護者にしてもらおうとする子どももいる。 ・鼻水が出たら自分でかみ、ティッシュの始末をしようとする姿が見られる。 ・以前は遊びを傍観していた子どもも、「ちゃん、遊ぼう」と声をかける姿も見られるようになってくる。 ・簡単なルールのある遊びなど、やりたい遊びを見つけて、自分から保育者や友達を誘って一緒に遊ぶことを楽しんでいる。 ・ままごとではお雑煮作りなどを楽しんだり、カルタやトランプ、絵合わせ、福笑いなどのお正月に遊んだ伝承遊びを友達や保育者と一緒に楽しむ姿が見られる。カルタは文字がわかるのではなく、絵を見て覚えて取ることができる。また、手作りのコマで遊ぶ姿も見られる。 ・氷や霧柱、つららなどができている様子を見て喜んで、溶けていく様子を見て不思議に思ったりする。また、氷を探しているいろいろな場所に行く姿が見られる。しかし、手が冷たくて触るのを嫌がる子どももいる。 ・ごっこ遊びの中で役に興味をもち、なりきってしてみようとするが、見てもらうことが恥ずかしい思いから、声が小さくなる子どもがいる。また、見てもらうことが嬉しくてテンションがあがる子どももいる。 ・語彙が増え、友達同士でしゃべることが多くなり、言葉のやりとりが続くようになる。 										
<p>(教育・養育)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず、戸外で遊び、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・冬の生活に必要な習慣を知り、健康に過ごす。 ・伝承遊びをする中で、保育者や異年齢の友達とかかわって遊ぶ楽しさを味わう。 ・氷や霧、雪などの身近な冬の自然現象に気付き、興味をもったり、それを使って遊んだりすることを楽しむ。 ・ごっこ遊びをして、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る。 ・感染症が流行しやすいので、室温と室外の気温差に留意したり、活動に応じて衣服の調節をしたりして、健康に過ごせるようにする。 										
<p>経験させたい内容</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="220 786 268 949"> <p>健康な心と体</p> </td> <td data-bbox="268 786 1386 949"> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な行事と、食べ物について興味をもつ。 ・楽しい雰囲気の中で冬の食材を使った給食を食べる。 ・冬の生活の仕方が分かり、自分でしようとする。 ・防寒着の着脱の仕方がわかり、自分でしようとする。 ・寒さに負けず、体操をしたりマラソンをしたりして体をあたためる。 ・風邪の予防について知り、手洗いうがいをきちんとする。 ・鬼ごっこ、ボール遊び、おしくらまんじゅうなど、保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 949 268 1043"> <p>人間関係</p> </td> <td data-bbox="268 949 1386 1043"> <ul style="list-style-type: none"> ・正月ならではの伝統的な遊びを知り、簡単なルールを守りながら異年齢の友達や保育者と繰り返し楽しんで遊ぶ。(カルタ、すごろく、福笑いなど) ・友達の嫌がることを言ったり、してはいけないことに気付く。 ・保育者や友達の手伝いを喜んでする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1043 268 1137"> <p>環境</p> </td> <td data-bbox="268 1043 1386 1137"> <ul style="list-style-type: none"> ・雪合戦や雪だるま作りをしたり、冬の自然現象(雪、霧、氷、つらら)に触れ取り入れて遊ぶ。 ・風や雪の冷たさを感じる。 ・お正月のお飾り、門松などを見たり、とんどなどの伝統文化について知る。 ・遊びの中で、数を数え、「多い・少ない」などを知る。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1137 268 1232"> <p>命と自然</p> </td> <td data-bbox="268 1137 1386 1232"> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ中で、少しずつ相手の話を落ち着いて聞こうとする。 ・カルタ遊びなどを楽しんでいる。 ・絵本の中の繰り返しの言葉を楽しむ。 ・休み中に経験したことや感じたことを話し、友達や保育者と言葉のやりとりをする。 ・「あけましておめでとうございます」という正月のあいさつをする。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="220 1232 268 1317"> <p>豊かな情緒</p> </td> <td data-bbox="268 1232 1386 1317"> <ul style="list-style-type: none"> ・歌ったり、踊ったり、楽器を鳴らしたり、みんなの前で表現する。 ・保育者と一緒に書き初めをしたり、季節の行事のもの(たこ、鬼のお面など)の製作をする。 </td> </tr> </table>	<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な行事と、食べ物について興味をもつ。 ・楽しい雰囲気の中で冬の食材を使った給食を食べる。 ・冬の生活の仕方が分かり、自分でしようとする。 ・防寒着の着脱の仕方がわかり、自分でしようとする。 ・寒さに負けず、体操をしたりマラソンをしたりして体をあたためる。 ・風邪の予防について知り、手洗いうがいをきちんとする。 ・鬼ごっこ、ボール遊び、おしくらまんじゅうなど、保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ。 	<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正月ならではの伝統的な遊びを知り、簡単なルールを守りながら異年齢の友達や保育者と繰り返し楽しんで遊ぶ。(カルタ、すごろく、福笑いなど) ・友達の嫌がることを言ったり、してはいけないことに気付く。 ・保育者や友達の手伝いを喜んでする。 	<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雪合戦や雪だるま作りをしたり、冬の自然現象(雪、霧、氷、つらら)に触れ取り入れて遊ぶ。 ・風や雪の冷たさを感じる。 ・お正月のお飾り、門松などを見たり、とんどなどの伝統文化について知る。 ・遊びの中で、数を数え、「多い・少ない」などを知る。 	<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ中で、少しずつ相手の話を落ち着いて聞こうとする。 ・カルタ遊びなどを楽しんでいる。 ・絵本の中の繰り返しの言葉を楽しむ。 ・休み中に経験したことや感じたことを話し、友達や保育者と言葉のやりとりをする。 ・「あけましておめでとうございます」という正月のあいさつをする。 	<p>豊かな情緒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌ったり、踊ったり、楽器を鳴らしたり、みんなの前で表現する。 ・保育者と一緒に書き初めをしたり、季節の行事のもの(たこ、鬼のお面など)の製作をする。
<p>健康な心と体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な行事と、食べ物について興味をもつ。 ・楽しい雰囲気の中で冬の食材を使った給食を食べる。 ・冬の生活の仕方が分かり、自分でしようとする。 ・防寒着の着脱の仕方がわかり、自分でしようとする。 ・寒さに負けず、体操をしたりマラソンをしたりして体をあたためる。 ・風邪の予防について知り、手洗いうがいをきちんとする。 ・鬼ごっこ、ボール遊び、おしくらまんじゅうなど、保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ。 										
<p>人間関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正月ならではの伝統的な遊びを知り、簡単なルールを守りながら異年齢の友達や保育者と繰り返し楽しんで遊ぶ。(カルタ、すごろく、福笑いなど) ・友達の嫌がることを言ったり、してはいけないことに気付く。 ・保育者や友達の手伝いを喜んでする。 										
<p>環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雪合戦や雪だるま作りをしたり、冬の自然現象(雪、霧、氷、つらら)に触れ取り入れて遊ぶ。 ・風や雪の冷たさを感じる。 ・お正月のお飾り、門松などを見たり、とんどなどの伝統文化について知る。 ・遊びの中で、数を数え、「多い・少ない」などを知る。 										
<p>命と自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ中で、少しずつ相手の話を落ち着いて聞こうとする。 ・カルタ遊びなどを楽しんでいる。 ・絵本の中の繰り返しの言葉を楽しむ。 ・休み中に経験したことや感じたことを話し、友達や保育者と言葉のやりとりをする。 ・「あけましておめでとうございます」という正月のあいさつをする。 										
<p>豊かな情緒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌ったり、踊ったり、楽器を鳴らしたり、みんなの前で表現する。 ・保育者と一緒に書き初めをしたり、季節の行事のもの(たこ、鬼のお面など)の製作をする。 										
<p>環境構成と援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休み明けで、園生活のリズムを取り戻しにくい子どもには安心してスタートがきれるように、保育者と一緒にゆとりをもって過ごせるようにする。自分でできるようになったことを認め、自信や満足感が味わえるように援助する。 ・マラソンでは子どもたちの様子を見ながら距離を決め、無理なく、楽しみながら走れるようにする。 ・感染症予防のために、手洗いうがいの大切さを知らせ、洗う様子を見せたり、声かけをしたりする。 ・時間を決めて換気をしたり、花瓶、濡れたタオルを置くなどして室内の温度、湿度に留意する。 ・寒さのために着替えを嫌がる子どもには、声をかけて一緒にする。 ・クラスの活動に鬼ごっこやおしくらまんじゅうなどを取り入れ、友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるようにする。 ・簡単なルールのある遊びをする中で、ルールを守って遊ぶ楽しさが感じられるように、ルールに気づかせながら遊びを進めるようにする。 ・子どもたちが経験しているいろいろな正月遊びを用意し、一緒に遊びながら、遊び方を知らせる。 ・順番や物の取り合いなどのトラブルが起きた時には、互いの思いをしっかりと聞き受け止めるようにする。相手の思いにも気付いていけるように援助する。 ・氷や霧、雪など冬の自然現象に触れる機会を逃さず、見たり触れたりできるようにする。子どもたちの発見や驚きに共感する。 ・休み中の出来事について、話したい気持ちを受け止め、ゆったりと話を聞く。また、遊びの中で子どもたちの声を保育者が代弁したりしながら、言葉で伝える楽しさや喜びを感じられるようにする。 ・イメージが膨らむよう絵本や紙芝居を繰り返し読んだり、子どもからの声に応えたりする。 										
<p>(小学校等との連携)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・室温や湿度に留意し、感染症予防に努めると共に流行の兆しが見られたら保護者に知らせ、体調の変化について連絡を取り合いながら、様子がいつもと違うと思った時は早めに受診してもらう。 ・風邪やインフルエンザが流行してくる時期なので、家庭でも手洗いうがいに気を付け、習慣づけてもらうようにする。 ・厚着になると、自分で排泄がしにくかったり、汗をかきやすくなったり、着脱もしにくくなることを伝え、厚着にならないように声をかける。 ・冬休み中に経験したことを聞き、園での生活や遊びに取り入れる。また、園での生活の様子を知らせ、つながりのある生活が送れるようにする。 ・園庭での活動時、道を行き交う人と挨拶を交わす。また、地域の方々や出会ったら「あけましておめでとうございます」の新年の挨拶を保育者と一緒に交わす。 ・お正月遊びや伝承遊びの大切さを知らせ、家庭で一緒に遊べるようにする。 ・雪遊びが十分楽しめるように、防寒具の用意をしてもらうと共に、衣類も多めに用意してもらう。 ・とんど焼きをすることを知らせ、各家庭地域から正月の飾りなどを持ってきてもらい、参加してもらう。 										

3歳児 2月

<p style="text-align: center;">発達 こども の 主な 特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯やみそ汁などを配る手伝いを喜んでする。また、おかわりも自分でつづことができる。 ・排泄面ではペーパーをちぎって、自分で拭くことができる子どもも増えてくるが、ペーパーをたくさん使いすぎてしまうこともある。 ・寒さに負けず戸外で体を動かして遊んでいる。特に雪が降った日には雪だるまづくり、雪合戦、そり遊びなどを楽しんでいる。反面「寒い。」と言って戸外に出るのを嫌がる子どももいるが、外に出ると保育者と一緒に体を動かして遊ぶことができる。 ・喜んでマラソンをしたり、友達と一緒に走ることを楽しんだり、友達より速く走りたいという気持ちで頑張っている子どももいる。 ・戸外では大縄跳びに興味をもち年長児、年中児の真似をして跳んでみようとする。最初は上手くできないが何回か跳んでいるうちに自分なりのコツをつかみ跳べるようになる子どももいる。また、室内ではカルタやひらがなカードなどを楽しんで遊ぶ子どもがいる。 ・うがい、手洗いは習慣づいているが、簡単にすませてしまう子どももいる。 ・防寒着の始末は自分からしようとしている。できにくい所は手伝ってもらおうとする。 ・遊んだ後の片付けを自分でしようとし、褒められると更に張りきってする反面、遊び方、片付け方が雑になったり、片付けをしなくて他の遊びに移ることもある。 ・ルールのある遊びやごっこ遊びなどの遊びを繰り返し楽しみ、継続して遊ぶ様子が見られる。 ・自分のしたい遊びを見つけることができ、落ち着いて遊べるようになってくる。また、友達と一緒に遊ぶ楽しさがわかり、気の合う友達を誘って遊ぶようになるが、物を取り合ったり、順番を取り合ったりして、まだまだトラブルがある。決まりが守れない友達に「いけんよ。」と言って教えてあげる姿も見られる。 ・年長児に親しみをもち、一緒に遊んでもらったり、お弁当や給食を食べる時間を楽しみにしたりしている。お別れ遠足やお別れ会に参加しお別れが近いことを感じる。進級が近いことを知り、もうすぐ 組になるという言葉が子どもたちから聞かれるようになる。 ・生活の場面や、遊び、自然の中で「なぜ?」「どうして?」の質問の言葉がよく聞かれる。 										
<p style="text-align: center;">() 教育・ 養育 ()</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に戸外で体を動かして遊び、寒さに負けずに健康な体を作る。 ・冬の生活に必要な習慣を知り、身の回りのことが自分でできるようになり、進んでしようとする。 ・保育者や友達と一緒に簡単なきまりを守って生活したり、ルールを守って遊んだりする楽しさを味わう。 ・遊びの中で自分の思いをしっかりと表し、物を分け合ったり順番を守ったりして友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・雪や氷など身近な冬の自然に関心をもち、驚いたり喜んだり遊びに取り入れたりする。 ・生活や遊びに応じた言葉が使えるようになる。 ・季節の変化に応じて保健的で安全な環境を作り、快適に過ごせるようにする。 ・一人一人の成長を認め安心感や満足感をもって生活できるようにする。 										
<p style="text-align: center;">経験 させ たい 内容</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">健康 な 心 と 体</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄、排便の始末を自分でしようとする。 ・戸外から帰ったら手洗い、うがいをして風邪の予防をする。また、自分で鼻水の始末をする。 ・途中で遊びを変える時には、片付けてからする。 ・自分の体調不良や、怪我をしたことを保育者に伝える。 ・マラソン、縄跳びなど体を動かすことを楽しみながら、体を温めたり、いろいろな運動遊びに挑戦したりする。 ・簡単な当番活動を張りきってする。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">関 人 関 係</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達とルールのある遊びを楽しんでする。 ・異年齢のしていることに関心をもち、一緒に活動をする。 ・保育者や友達と一緒にごっこ遊びや楽器遊び、体操をする。 ・年長組とのお別れが近いことを知り一緒にしかわって遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自 信 と 信 頼</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・節分について知り、豆まきに参加する。 ・氷、つらら、霧柱、雪に触れて遊び、いろいろな発見をする。 ・梅の花や木の芽ぶきなどを見て、春の訪れを感じる。 ・生活や遊びの中で、物の色や形、量、数などに興味をもつ。 ・遊具を貸し借りし、順番を待って使う。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自 然 と</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中で遊びに必要な言葉を言ったり聞いたりする。 ・自分の思いを言葉で伝えようとしたり、友達の言っていることを聞いたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞く。 ・生活の中で、困ったことや手伝ってほしいことを言葉で伝える。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">豊 か な 情 境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中でやりたい役になったり、見立てたりして自分なりのイメージをもって遊ぶ。 ・友達と一緒にいろいろな曲に合わせて歌ったり、楽器遊びをしたり、体を動かしたりする。 ・お祝いやお礼の気持ちを込めて、年長児に渡すプレゼントを作る。 ・粘土やお絵かきなど自由に表現し、描いたり作ったりしたものに、意味付けをして遊ぶ。 ・リズム運動では曲に合わせて、手や足をしっかりと動かして遊ぶ。 </td> </tr> </table>	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄、排便の始末を自分でしようとする。 ・戸外から帰ったら手洗い、うがいをして風邪の予防をする。また、自分で鼻水の始末をする。 ・途中で遊びを変える時には、片付けてからする。 ・自分の体調不良や、怪我をしたことを保育者に伝える。 ・マラソン、縄跳びなど体を動かすことを楽しみながら、体を温めたり、いろいろな運動遊びに挑戦したりする。 ・簡単な当番活動を張りきってする。 	関 人 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達とルールのある遊びを楽しんでする。 ・異年齢のしていることに関心をもち、一緒に活動をする。 ・保育者や友達と一緒にごっこ遊びや楽器遊び、体操をする。 ・年長組とのお別れが近いことを知り一緒にしかわって遊ぶ。 	自 信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・節分について知り、豆まきに参加する。 ・氷、つらら、霧柱、雪に触れて遊び、いろいろな発見をする。 ・梅の花や木の芽ぶきなどを見て、春の訪れを感じる。 ・生活や遊びの中で、物の色や形、量、数などに興味をもつ。 ・遊具を貸し借りし、順番を待って使う。 	自 然 と	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中で遊びに必要な言葉を言ったり聞いたりする。 ・自分の思いを言葉で伝えようとしたり、友達の言っていることを聞いたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞く。 ・生活の中で、困ったことや手伝ってほしいことを言葉で伝える。 	豊 か な 情 境	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中でやりたい役になったり、見立てたりして自分なりのイメージをもって遊ぶ。 ・友達と一緒にいろいろな曲に合わせて歌ったり、楽器遊びをしたり、体を動かしたりする。 ・お祝いやお礼の気持ちを込めて、年長児に渡すプレゼントを作る。 ・粘土やお絵かきなど自由に表現し、描いたり作ったりしたものに、意味付けをして遊ぶ。 ・リズム運動では曲に合わせて、手や足をしっかりと動かして遊ぶ。
健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄、排便の始末を自分でしようとする。 ・戸外から帰ったら手洗い、うがいをして風邪の予防をする。また、自分で鼻水の始末をする。 ・途中で遊びを変える時には、片付けてからする。 ・自分の体調不良や、怪我をしたことを保育者に伝える。 ・マラソン、縄跳びなど体を動かすことを楽しみながら、体を温めたり、いろいろな運動遊びに挑戦したりする。 ・簡単な当番活動を張りきってする。 										
関 人 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達とルールのある遊びを楽しんでする。 ・異年齢のしていることに関心をもち、一緒に活動をする。 ・保育者や友達と一緒にごっこ遊びや楽器遊び、体操をする。 ・年長組とのお別れが近いことを知り一緒にしかわって遊ぶ。 										
自 信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・節分について知り、豆まきに参加する。 ・氷、つらら、霧柱、雪に触れて遊び、いろいろな発見をする。 ・梅の花や木の芽ぶきなどを見て、春の訪れを感じる。 ・生活や遊びの中で、物の色や形、量、数などに興味をもつ。 ・遊具を貸し借りし、順番を待って使う。 										
自 然 と	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中で遊びに必要な言葉を言ったり聞いたりする。 ・自分の思いを言葉で伝えようとしたり、友達の言っていることを聞いたりする。 ・保育者や友達の話に興味をもって聞く。 ・生活の中で、困ったことや手伝ってほしいことを言葉で伝える。 										
豊 か な 情 境	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びの中でやりたい役になったり、見立てたりして自分なりのイメージをもって遊ぶ。 ・友達と一緒にいろいろな曲に合わせて歌ったり、楽器遊びをしたり、体を動かしたりする。 ・お祝いやお礼の気持ちを込めて、年長児に渡すプレゼントを作る。 ・粘土やお絵かきなど自由に表現し、描いたり作ったりしたものに、意味付けをして遊ぶ。 ・リズム運動では曲に合わせて、手や足をしっかりと動かして遊ぶ。 										
<p style="text-align: center;">環 境 構 成 と 援 助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さの中でも体を動かす心地よさが感じられるように、保育者も一緒に楽しんで遊ぶようにする。 ・室温、湿度に留意し、こまめに換気をして調節をする。 ・手洗い、うがい、身の回りの始末など率先して行っている子どもをしっかり認め、周りの子どもたちも「やってみよう。」「ばくも出来た。」という気持ちもてるようにする。 ・遊びをやめる時には片付けること、また、自分が使っていた物から片付けることを知らせ、一緒にしながら身に付くように援助する。また、手伝いや片付けがしやすいように、わかりやすく表示した収納スペースを工夫する。 ・喜んで当番活動ができるようにしっかりと認め褒める。 ・排泄面では自分でできたことを一緒に喜んで、褒めたりする。まだ自分でできないところは、保育者が手伝うが、自分でやってみようとする気持ちを大切に、必要な援助をする。 ・進級が近いので、改めて生活面の見直しをする。進級を楽しみにしている気持ちを受け止め、そのことがプレッシャーにならないように配慮する。 ・保育者も一緒に遊ぼうと、ルールを守って遊ぶ楽しさが感じられるようにルールを知らせる。 ・年長、年中児のしていることに関心をもち、いろいろな遊びに挑戦している子どもの姿を認めたり、褒めたり、励ましたりしながら、意欲的に頑張れるようにする。 ・節分などの行事に関心もてるように絵本や視聴覚教材を準備しておく。 ・雪、氷、つらら、霧柱などは見逃さず見たり触れたりできるように配慮し、子どもの驚きや発見を大切に、「なぜ?」「どうして?」という子どもたちの好奇心に応えるようにする。 ・梅の花や木の芽ぶきなど、寒い中にも春を感じさせる自然が見られるので、子どもたちと一緒に探索する中で気付けるようにし、発見した喜びに共感し関心が深まるようにする。 ・ごっこ遊びの中で、保育者も仲間になって遊び、言葉のやりとりを一緒に楽しむようにする。 ・子どもたちだけで遊ぶ様子を見守り、トラブルが起こった時には、保育者が仲立ちとなり、子どもたちの話を聞いたり、伝えたりする。 ・友達とかかわって遊ぶ中で、時には相手の思いを受け入れ我慢することも大切だということを知らせていく。 ・自分でしようとする気持ちを大切に、自分なりに頑張ってきたことをしっかりと認め自信につなげていく。 ・ごっこ遊びを十分楽しめるようにコーナーをつくり、なりきって遊べるように材料や用具を準備する。 ・いろいろな物に見立てて遊ぶことが十分に楽しめるように、段ボールやソフト積み木などを準備する。また、自由に動かして遊べるような広い場所の確保もしていく。 ・イメージをもって描いたり作ったりできるように材料を用意し、子どもの要求に応じて使えるようにしておく。 ・表現する楽しさ喜びが味わえるように素材を用意したり、作品を見せ合ったり、表現を認めたりする。 										
<p style="text-align: center;">() 家 庭 ・ 地 域 と の 連 携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雪遊びで濡れることもあるので、着替えを多めに用意してもらおうようにお願いする。 ・感染症（インフルエンザ・風邪など）が流行する時期なので、日頃の様子を伝えるとともに、手洗い、うがいの励行を呼び掛け、生活リズムを整えることの大切さも知らせていく。 ・防寒具や長靴、手袋など必要に応じて用意してもらおう。また、厚着にならないように調節しやすい衣服を用意してもらおう。 ・感染症の流行を保護者に知らせ、早期発見、早期治療を心がけていただく。 ・進級するにあたって、身の回りのことなど自分でしようとしている姿を伝え、家庭でも見守って自分でする機会を作っていたり、自信や意欲がもてるような言葉を掛けてもらうように伝える。 										

3歳児 3月

発達 こ ども の 主 な 特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りのことはほとんどできるようになるが、衣服の着脱や排便の始末が十分にできない子どももいる。 ・簡単な伝言やテーブル拭きなどの手伝いを喜んでできるようになっている。 ・気の合う友達と、いろいろな登場人物になったり、役割を決めて、ごっこ遊びを楽しんでいる。 ・異年齢の子どもたちの仲間に入れてもらって遊び経験から、真似をして自分たちで遊び始め、繰り返し楽しむ姿が見られる。 ・トラブルもあるが、気の合う友達と一緒にブロックを組み立てたり、絵本を見たり、持続して遊べるようになる。 ・「大きい組になりたい」という期待をもち始めているが、進級するということが理解できていない子どももいる。 ・暖かい日差しを感じたり、草花を見つけたりする。 ・卒業児に感謝の気持ちとお祝いの気持ちをもつようになってくる。 ・自分の思いを伝えながらも、「だって」「じゃあ」と理由が言えたり、折り合いをつける言葉が多く聞けるようになる。 ・友達とつながりを感じながら、歌ったり、絵を描いたり、一緒に表現することを楽しんでる様子が見られる。 	
ねらい (教育・養育)	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことがほとんど自分でできるようになり、自信をもって取り組む。 ・進級への期待をもって、楽しく園生活を過ごす。 ・大きくなったことを喜び、友達や異年齢とのかかわりを深めながら遊ぶ。 ・戸外遊びや散歩を通して、身近な自然の変化に気づき、春の訪れを感じる。 ・一人一人の成長を温かく受け止め、安定した気持ちで生活できるようにする。 	
経験 させ たい 内 容	健康 な 心 と 体	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいはしの持ち方や姿勢を意識して食事する。 ・生活の流れがわかり、手洗い、うがい、着脱を自分から進んで行う。 ・身の回りのことができることに自信をもつ。 ・もうすぐ年中組になるということがわかり、喜びや期待をもつ。 ・ひな祭りに関心をもつ。
	自 信 と 信 頼	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや思いを伝えたり、友達の気持ちに気づきながら一緒に遊ぶ。 ・気の合う友達を誘って好きな遊びをする。 ・友達が泣いたり、困ったりしていたら、優しくかかわろうとする。 ・様々な行事を通して、異年齢児とかがわる。(ひなまつり会・お別れ会・卒園式)
	環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外遊びで日差しの暖かさ、木の芽の息吹や花のつぼみを発見し、春の訪れを感じる。 ・楽しんでひなまつり、お別れ遠足やお別れ会などに参加する。 ・自分の持ち物や1年間使った部屋やコーナーなどを片づけ、感謝の気持ちをもつ。
	命 と 自 然	<ul style="list-style-type: none"> ・ままごとやいろいろなごっこ遊びの中で、言葉のやりとりを楽しみでする。 ・絵本、紙芝居、素話の内容のおもしろさがわかり、見たり聞いたりする。 ・一年間の思い出を振り返り、どんな出来事があったか、また、進級したらどんなことをしたいかなどを話す。
	豊 か な 情 操 と 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児が小学校に行くことを知り、感謝の気持ちを込めてプレゼントを作る。 ・身近な素材を使って、おひなさまなど自分なりのイメージで描いたり作ったりする。
環 境 構 成 と 援 助	<ul style="list-style-type: none"> ・進級することを意識し、子どもたち自身が成長を実感して食事や身の回りのことに取り組めるようにする。 ・服のたたみ方などを再認識し、丁寧にすることの大切さを知らせていく。自分でしようとする姿を認め、自信がもてるように言葉がけをしていく。 ・遊具に慣れ、大胆な遊び方をする子どもも出てくるので、子どもたちの発想も大事にしなが危険のないように配慮する。 ・暖かい日差しや草花の成長など、春の訪れに気づいた時の子どもの発見や驚きに共感し、周りの子どもたちにも知らせ関心を広げていく。 ・「友達と遊びたい」「一緒にしたい」という気持ちを受け止め友達とのつながりがより深めていけるようにかかわる。 ・一人一人の思いや考えを受け止め、必要に応じて思いを伝える仲立ちをして、友達関係が広がるようにする。 ・異年齢児クラスの保育者との連携を取りながら、一緒に行事に参加し交流が深められるようにしていく。 ・年長児と遊んでもらった思い出を話し合い、感謝の気持ちでプレゼント作りができるように援助する。 ・自分で考えたり工夫したりしながら、じっくりと好きな遊びに取り組めるような時間と場所を確保する。 ・自然の変化に気づいた子どもの驚きなどを大切に、一緒に図鑑で調べ、「なぜ」という思いを大切に探究心がもてるようにする。 ・一年間慣れ親しんだ部屋や遊具をきれいにすることで進級する喜びを感じられるようにする。 ・一年間をみんなで振り返り、年度始めと比べて、いろいろなことが自分のできるようになったことや心身ともに大きくなったことなどを話し、成長したことなどを喜び合えるようにする。 ・木々の芽吹きや開花、日差しの暖かさなど子どもたちが全身で感じたことを言葉で伝え合い、春の訪れを感じられるようにする。 ・素話は、子どもがイメージしやすいものを選び、楽しめるようにする。 ・春のイメージがもてる曲を準備し、友達と一緒に歌ったり踊ったりして楽しめるようにする。 ・子どもたちが工夫できるような身近な素材や用具を準備する。 	
家 庭・ 地 域 と の 連 携 (小 学 校 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変わり目を迎えて体調を崩しやすい時期なので、衣服を調節して過ごせるよう呼びかける。 ・進級に対する子どもたちの気持ちを受け止め、進級を楽しみに待てるよう協力をお願いする。 ・「おもいで帳」などを綴って持ち帰り、子どもの成長を家庭で見てもらおう。 ・一年間の子どもの成長を保護者と喜び合い、今までの協力に対して感謝の気持ちを伝える。 ・春休み中も楽しく過ごし、健康と安全に注意し、進級にそなえてもらう。(幼) 	